



# XR50 / 100モタード・Ape50 / 100用 コンパクトクールオイルクーラーキット 取扱説明書

(ラバーホース)

商品番号 : 09 07 2153 (3-Fin)  
09 07 2154 (4-Fin)

適応車種 : HONDA  
XR50 / 100モタード  
Ape50 (AC16-1000001~)  
Ape100 (HC07-1000001~)

弊社製ボアアップキット又は弊社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着しなければ、当製品を取り付ける事は出来ません。

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
  - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。当製品は、適応車種に合致する車両で、弊社製ボアアップキット又は弊社製ダイカストマグネシウムクラッチカバーを装着している車両に取り付ける事が出来ます。また、ボアアップキットとダイカストマグネシウムクラッチカバーの両方とも装着している車両はオイルの取り出し方式を選択する事が可能となっております。ダイカストマグネシウムクラッチカバー装着車両に当製品を取り付ける場合には、カバー部に傷が付かない様に注意して作業を行って下さい。塗装が剥がれてしまった場合、剥がれた部分のみでも再塗装を行って下さい。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

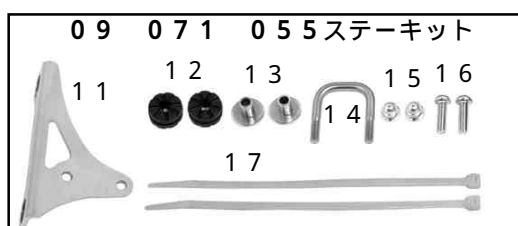
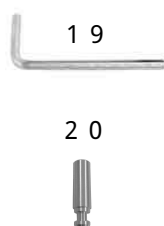
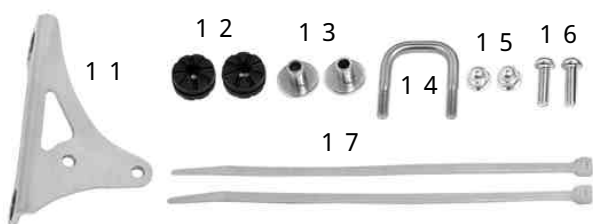
- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児が被ったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	オイルクーラーComp.(3-Fin)	1	00 07 0055	1
	オイルクーラーComp.(4-Fin)	1	00 07 0008	1
2	オイルホース(1500mm)	1	00 07 0012	2m
3	バンジョーボルト M10(ロング)	1	15531-GEY-T01	1
4	バンジョーボルト M10(ショート)	2	00 07 0038	1
5	バンジョー(30°)	1	15661-KTK-T00	1
6	バンジョー	2	15660-000-T01	1
7	シーリングワッシャ 10mm	4	00 07 0010	10
8	オイルユニオン M14	2	00 07 0081	1
9	ユニオンボルト M12	2	00 07 0034	1
10	シーリングワッシャ 14mm	4	00 07 0042	5
11	オイルクーラーステー	1	15660-KRL-T01	1
12	クッションラバー	2	00 00 0099	4
13	クッションカラー	2	00 00 0476	1
14	Uボルト	1	15671-GEY-T00	1
15	フランジキャップナット	2	00 00 0294	10
16	ボタンヘッドソケットスクリュー M6x20	2	00 00 0084	5
17	インシュロックタイ 200mm	2	00 00 0179	10
18	ホースクランプ	4	00 00 0052	2
19	六角棒レンチ 4mm	1		
20	オイルホールプラグ	1	00 02 0391	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

## — オイルクーラーキット使用上のご注意 —

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモユニット(02-01-5052)を取り付けて下さい。

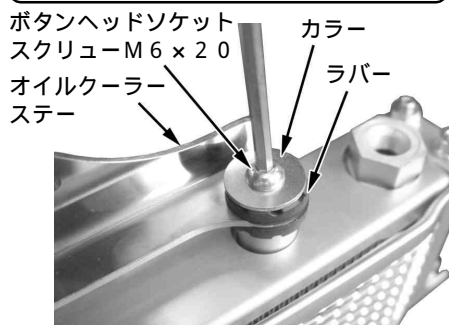
何れも取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意ください。

### ～ 取 り 付 け 要 領 ～

#### 作業を始める前に

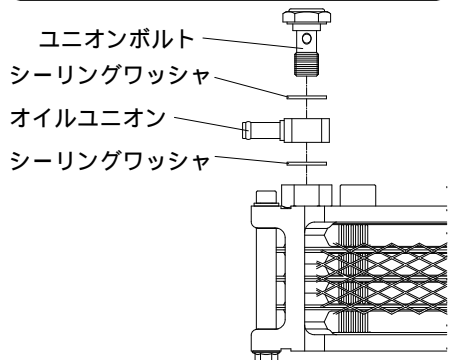
1. キット内容をご確認下さい。
2. 車両をメンテナンススタンド等で、しっかりと水平に安定させて下さい。
3. XR50/100モーターにご使用の場合は、ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、Lシュラウドを取り外します。また、アップタイプのマフラーを取り付けている場合、一度取り外して作業を行って下さい。
4. キット付属の オイルクーラーステーに、クッションラバーを取り付け、取り付けられたラバーに クッションカラーを取り付けます。
5. 組み立てたステーのクッションカラーに、ボタンヘッドソケットスクリュー6×20を通し、 オイルクーラーを取り付けます。写真を参照して、組み付ける向きを確認して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



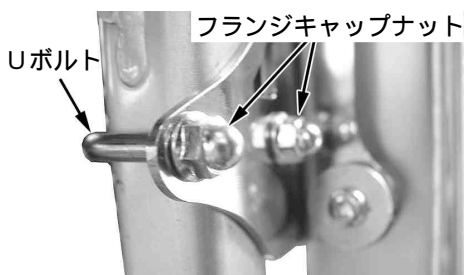
6. ユニオンボルトに、シーリングワッシャ14mm、オイルユニオン、シーリングワッシャ14mmの順で通し、オイルクーラーComp.に仮締めします。

△注意：シーリングワッシャが、オイルクーラーヘッダー(6角部分)の凹部からずれた状態でユニオンボルトを締め付けた場合、オイル漏れの原因となります。



7. オイルクーラーステーをキット付属の Uボルトと フランジキャップナットを使用し、写真を参考にフレームを挟み込む様に取り付けて下さい。フレームの溶接跡に接触しないように取り付けて下さい。取り付け後、ステアリングを左右一杯に切り、オイルクーラーと車体との干渉等が無い事を確認して下さい。

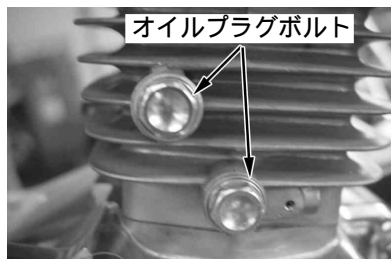
△注意：必ず規定トルクを守る事。  
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



8. お使いになる車両のオイル取り出し方法に応じて、シリンダーのオイルラインから取り出す場合・ダイカストマグネシウムクラッチカバーのオイルラインから取り出す場合の項目に進んで下さい。

#### シリンダーのオイルラインから取り出す場合

1. オイル受けを用意して、シリンダー右側のオイルライン取り出し穴のオイルプラグボルトを取り外します。

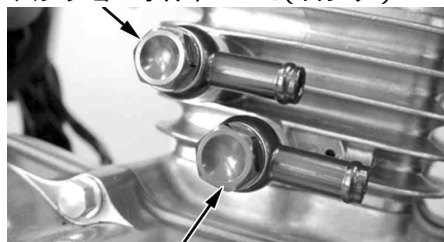


2. バンジョーボルトM10(ロング)に、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、シリンダー上側のオイルラインに仮付けします。ご使用になる車両のボアアップシリンダーが、ビッグフィンタイプの場合は、バンジョー(30°)を使用して下さい。

3. バンジョーボルトM10(ショート)に、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、シリンダー下側のオイルラインに仮付けします。

△注意：この時、シーリングワッシャが、バンジョーのセンターに来ている事を確認して下さい。ずれたまま取り付けるとオイル漏れの原因となります。

#### バンジョーボルトM10(ロング)



#### バンジョーボルトM10(ショート)

4. キット付属の オイルホースを、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端にホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けたオイルユニオンと、シリンダーに取り付けたバンジョーに差し込みます。
5. 仮付けしてあるオイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整します。
6. ユニオンボルトと、バンジョーボルトM10を規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
ユニオンボルト(オイルクーラー側)：25N・m(2.5kgf・m)  
バンジョーボルトM10(シリンダー側)：13~15N・m(1.3~1.5kgf・m)

△注意：オイルクーラー側のユニオンボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

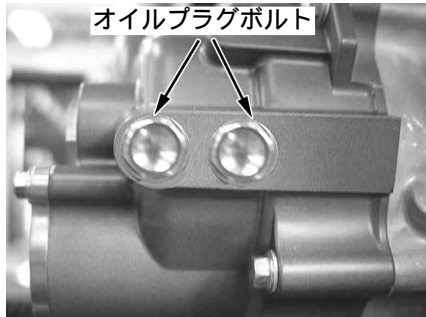
7. ホースクランプを締め付けます。クラッチカバー側のホースバンドを締め付ける際は必ずクラッチカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。

△注意：クラッチカバーキットを取り付けた状態で、シリンダーにオイルクーラーホースを接続した場合は、オイルホールプラグやサーモユニットを絶対に取り付けしないで下さい。オイル通路が遮断されエンジンが破損する可能性があります。

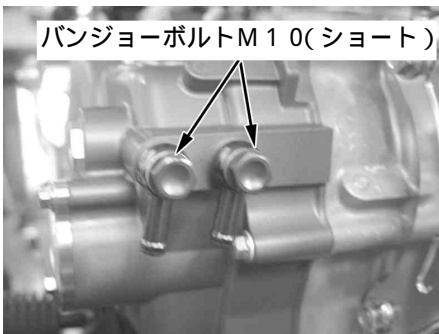
8. 最終確認の項目へ進んで下さい。

## ダイカストマグネシウムクラッチ カバーのオイルラインから取り出す 場合

1. オイル受けを用意して、クラッチカバー側面部（車両前側）にあるオイルプラグボルトを取り外します。



2. バンジョーボルトM10（ショート）に、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順で通し、クラッチカバーに仮付けします。

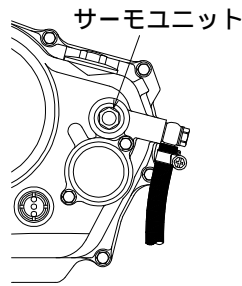


3. キット付属のオイルホースを、マフラー等に干渉しない様適当な長さに切断し、両端にホースクランプを通してから、オイルクーラーに取り付けたオイルユニオンと、クラッチカバーに取り付けたバンジョーに差し込みます。
4. 仮付けしてあるオイルユニオン及びバンジョーの角度と、オイルホースの長さを調整します。
5. ユニオンボルトと、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
**ユニオンボルト（オイルクーラー側）**  
 : 25 N・m (2.5 kgf・m)  
**バンジョーボルトM10**  
 (クラッチカバー側)  
 : 13 ~ 15 N・m  
 (1.3 ~ 1.5 kgf・m)  
 △注意：オイルクーラー側のユニオンボルトの締め付けは、オイルクーラーヘッド（六角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で、オイルユニオンを固定しながら行って下さい。

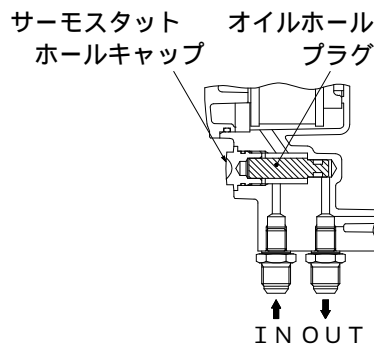
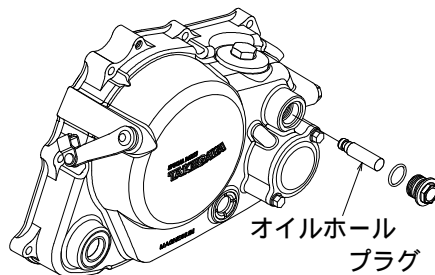
6. ホースクランプを締め付けます。  
 クラッチカバー側のホースバンドを締め付ける際は必ずクラッチカバー部に干渉しない位置で締め付けて下さい。

7. (サーモユニットを取り付ける場合)  
 ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。  
 サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。



- (サーモユニットを取り付けない場合)
- ・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
  - ・サーモスタットホールキャップのOリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。  
 トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)



8. 最終確認の項目へ進んで下さい。

## 最終確認

1. 取り付けの為に外した外装類やマフラーがあれば、元通り車両に取り付けます。
2. ステアリングを左右一杯に切り、取り付けたオイルクーラーが、フロントフォーク等や車体と干渉しないか確認します。
3. スパークプラグを外し、キックスターターを複数回踏みおろしてオイルをエンジン内に回した後、スパークプラグを取り付けます。
4. エンジンオイルを、オイルクーラー容量程度（4-Fin: 60cc、3-Fin: 40cc）追加し、エンジンを始動し、各部よりオイル漏れの有無を確認して下さい。  
 エンジンを止め、約1分後に車体を垂直に立てて、オイルレベルゲージで基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

△注意：エンジン始動後は、オイルクーラーやシリンダー等が高温になりますので、十分注意して下さい。

## △注意

クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、（購入時の状態）必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。

何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性が有ります。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
 TEL 0721 25 1357  
 FAX 0721-24-5059  
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
 URL <http://www.takegawa.co.jp>